

『marcel』12月号(ファイナル号)発売!

創刊21年の集大成である特集はヌースフィットが担当しました。

●『マルセル』21年間の集大成特集はヌースフィットが担当

平成6年に創刊された『マルセル』は、21年間に亘り技術系専門誌として多くの理美容師さんに愛読されてきました。

既報のとおり、その『マルセル』は2016年1月号より『経営とサイエンス』として生まれ変わることとなり、『マルセル』としてのファイナル号である12月号では、21年間の集大成である特集をヌースフィットが担当いたしました。

特集は、現在市場に出回っている還元剤7種類について詳しくわかる「還元剤図鑑」になっています。

●ファイナル号の特集は3部構成

30ページに亘る還元剤特集は、①検証編、②イメージ編、③実践編の3つのパートからなり、ウィッグによる比較、グラフィックによるイメージ展示、データ比較、モデル展示による実技が掲載されています。

それぞれのパートから、還元剤の特徴がつかめる構成になっており、《保存版》の名のとおり、どんな薬剤を選べばよいかわからないときに役立ちます。



■ マルセル2015年12月号



■ マルセル2015年12月号特集「検証編」

検証編ではブリーチしていない毛髪でも同様にテストをしており、ブリーチ毛との比較により還元剤の特徴が見た目でもよくわかります。

●①検証編

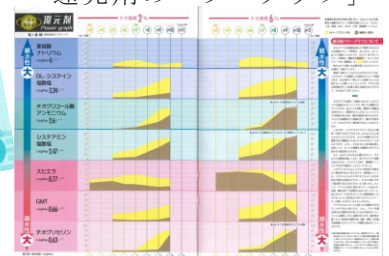
①検証編の冒頭、読者に対しての質問が用意されています。

7種類の還元剤を全て同じ濃度でpH6とpH9に調整し、ストレート処理したウィッグ「NA OMI」を並べ、どのウィッグがどの還元剤で処理したものか当ててもらいます。皆さん、是非チャレンジしてください。

「マルセル」2014年1月号の還元剤パワーグラフが参考になります。



■ マルセル2014年1月号「還元剤のパワーグラフ」



『マルセル』12月号特集「還元剤図鑑」は
グラフィックもヌースフィットのオリジナルです。



●②イメージ編は「還元剤図鑑」

イメージ編では、7種類の還元剤それぞれを見開き2ページを使い解説しています。
pHごとのウェーブ効率、還元剤処理した後の毛髪強度測定、電子顕微鏡観察などによるデータ比較と、ヌースフィットオリジナルのグラフィックで還元剤を様々なものに例え、分子模型とともにそれぞれの還元剤がどのような特徴を持つのかイメージをつかめるようになっています。

■「還元剤図鑑」オリジナルグラフィックの一例



●③実践編

実践編では、ヌースフィットのセミナー講師としても活躍されている「ヘアクリニックソフィア」の平川博幸さんが、酸性領域で還元力を発揮するGMTとスピエラの使いこなしをモデル2名で展示しています。



■実践編モデル
毛状の違う二人のモデルさんで展示。



■実践編担当の皆さん

- ・中：ヘアクリニック ソフィア 平川博幸さん
- ・左：ヘアクリニック ソフィア 飯野珠子さん
- ・右：make-up 岡本いつえさん

●還元剤図鑑は《永久保存版》

今回の特集ではウィッグでの検証、様々な実験結果、モデル実演を通じて7種類の還元剤の特徴を表しました。
これからのサロンワークにおいて、どの還元剤を使えばよいのか迷ったときに、この特集、「還元剤図鑑」を手に取り検討してください。

『マルセル』2015年12月号
11月1日発売。

●マルセルお勧めバックナンバー



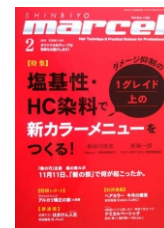
2012年5月号
FMCB理論



2014年12月号
GMTとは？



2014年1月号
還元剤の
パワーグラフ



2015年2月号
塩基性染料
カラーバター

◆「きょうの毛髪科学」／ツイッター：#hairscience
フェイスブック：http://goo.gl/eSnfPh

株式会社ヌースフィット／東京都板橋区舟渡3-28-11 info@nousfit.co.jp
TEL:03-3966-1814 FAX:03-3558-9287